

中宮浄水場更新事業について

1. 趣旨

本市水道事業は、平成 25 年度で通水 80 周年を迎えましたが、それに伴い施設の老朽化が進み、特に水道施設の根幹をなす中宮浄水場は老朽化が顕著であり、耐震性が確保されていません。

このため、安定的に安全・安心な水道水を将来に向け継続的に供給するために、今後、中宮浄水場の更新事業に取り組む必要があり、その方針について報告するものです。

2. 方針

(1) 浄水供給の現状

本市の水道水は、現在、中宮浄水場 13 万 m^3 /日、大阪広域水道企業団からの受水 2 万 m^3 /日、計 15 万 m^3 /日を市内全域に供給しています。

このうち、中宮浄水場は 2 系統の浄水処理施設で運転していますが、9 万 m^3 /日を処理している第 1 浄水場は建設後約 50 年が経過しており、処理方式も古く原水の状況によっては水処理がうまく行えないなどの課題があり、更新が急がれます。

(2) 浄水場更新の方針

本市の場合、企業団からの受水量を増やし、中宮浄水場を廃止または縮小する選択肢もあるためその可能性を検討しましたが、送水管等の大規模な施設整備が必要なことや中宮浄水場の浄水単価に比べ企業団からの受水単価がかなり高額であることなどから、浄水場を全面更新することとします。

また、中宮浄水場を存続することにより、本市の浄水場と企業団という水源の二重化が保たれ、危機事象時にも柔軟な水道供給が可能となり、市民の安全・安心を守ることができます。

更新の方法としては、施設や配管がゆとりなく配置されている現敷地内で行うことは、費用的、時間的に非常に非効率となり、効果的にも劣るため、近接用地(国有地)を取得して、更新事業を進めることとし、今後、更新計画をまとめて計画的に事業を進めるものです。

3. 事業スケジュール

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	H37年以降
調査 基本構想 基本設計 用地買収	■											
実施設計					■							
第1浄水場更新工事							■					
第2浄水場更新事業												■

※計画案につき、変更が生じる場合があります。

4. 経営状況に及ぼす影響と今後の課題

経営状況は、更新を行った場合でも現在の中期経営計画の最終年度の平成 30 年度までは健全な経営が確保できる見込みですが、新たな浄水場の減価償却が始まる平成 37 年度頃からは収益の悪化が予想されます。

このため、それまでには、第2浄水場の更新などにも検討を加え、社会・経済状況の変化にも対応した新たな経営計画を明らかにします。

<収益的収支見込>

(単位:百万円)

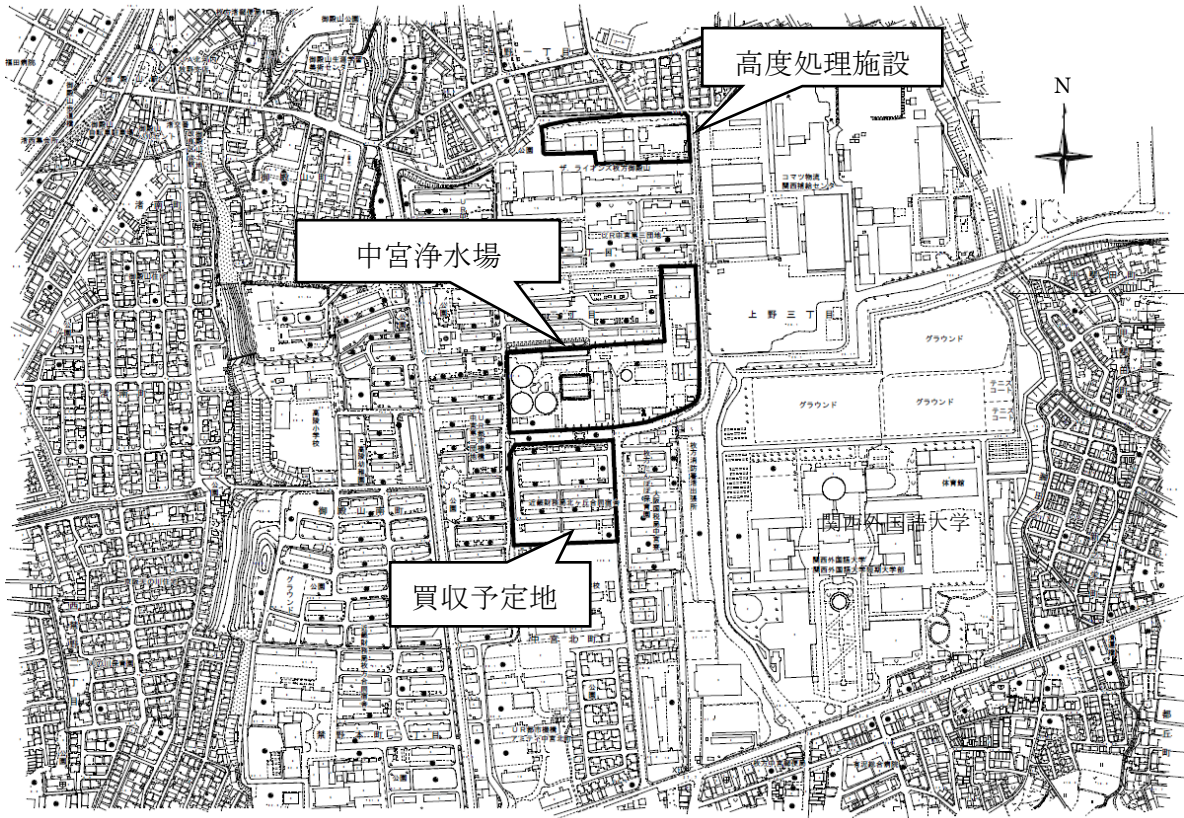
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
営業収益	6,659	6,577	6,359	6,189	6,128	6,088	6,016
うち料金収入	6,622	6,410	6,176	6,166	6,105	6,065	5,994
営業外収益	372	883	839	837	812	799	791
うち他会計補助金	131	128	119	111	110	109	109
うち長期前受金収益化	0	501	497	504	482	478	467
収入計	7,031	7,460	7,198	7,026	6,940	6,887	6,807
営業費用	5,483	5,923	5,643	5,697	5,487	5,437	5,521
うち維持管理経費	1,864	2,230	2,253	2,119	2,347	2,284	2,368
うち減価償却費等	2,466	2,751	2,662	2,829	2,397	2,410	2,410
営業外費用(支払利息等)	546	564	522	492	481	464	446
支出計	6,029	6,487	6,165	6,189	5,968	5,901	5,967
経常損益	1,002	973	1,033	837	972	986	840
特別損益	△ 438	△ 70	△ 11	△ 117	△ 17	△ 16	△ 16
当年度純損益	564	903	1,022	720	955	970	824

<資本的収支見込>

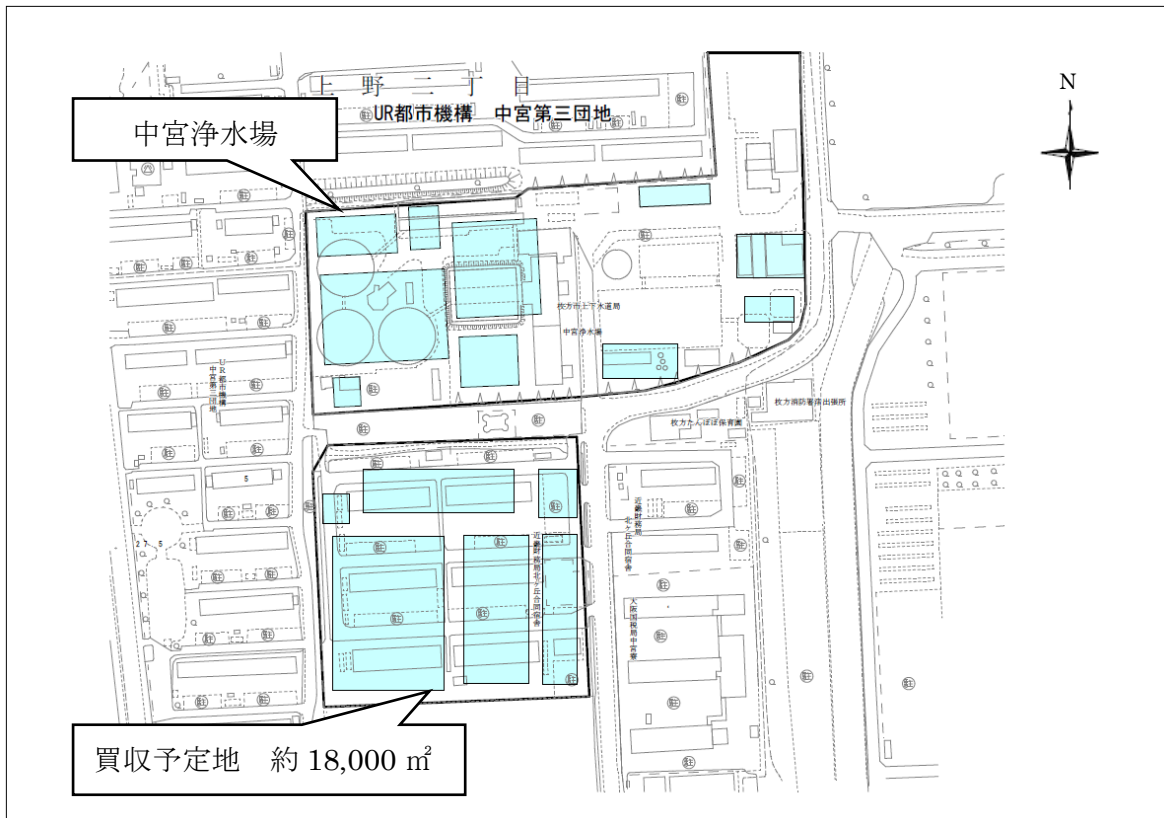
(単位:百万円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
企業債	1,300	1,300	1,300	1,300	1,000	1,000	1,000
他会計補助金	95	136	80	8	7	0	0
他会計出資金	78	157	211	0	0	0	0
その他(工事負担金等)	283	179	1,936	435	435	301	517
収入計	1,756	1,772	3,527	1,743	1,442	1,301	1,517
建設改良費	3,541	2,667	4,677	4,847	3,025	2,910	2,721
企業債等償還金	1,491	1,460	1,468	1,440	1,505	1,535	1,573
その他	1,197	25	289	289	289	289	289
支出計	6,229	4,152	6,434	6,576	4,819	4,734	4,583
単年度収支	△ 4,473	△ 2,380	△ 2,907	△ 4,833	△ 3,377	△ 3,433	△ 3,066
上記不足額に補てん可能な財源	7,576	6,385	7,485	8,088	6,408	6,203	5,790

位置図



更新案配置図



※計画案につき、変更が生じる場合があります。